

七

先斗町歌舞練場

ほんとうちかぶせんしやう



先斗町歌舞練場外観



入口

先斗町歌舞練場は大正14年(1925年)に着工、昭和2年(1927年)に完成しました。歌舞練場の屋根には中国の舞臺面を型取った鬼瓦が守り神として据えられています。
映画には、「浪花座」の設定で登場し、少年喜久雄(黒川想矢)と幸子(寺島しのぶ)がハイヤーから降り乗屋口に入るシーンや、半二郎(渡辺謙)や喜久雄(吉沢亮)の乗屋として撮影されました。

※先斗町歌舞練場は、外観のみご覧いただくことが可能です。場内は非公開となっておりますのでご注意ください。
先斗町歌舞練場:京都府京都市中京区橋下町130

九

東大阪市立日新高等学校

にっしん



日新高等学校正門



ロケ風景写真

東大阪市立日新高等学校は、令和5年(2023年)に創立100周年を迎え、中核市・東大阪市唯一の市立高等学校として、3学科併設の特色を活かし、生徒の多様な進路希望に応じた教育を展開しています。学校の前の坂道には桜並木が並び春になると満開の桜が咲き乱れます。映画には、天馬高等学校として登場し、少年喜久雄(黒川想矢)と俊介(越山敬遠)が通うシーンが撮影されました。
※日新高等学校は、外観のみご覧いただくことが可能です。校内の見学はできません。

東大阪市立日新高等学校:大阪府東大阪市下町7丁目9-1 ☎072-985-5551

日本映画の歴史に刻まれる美しく熱い、圧倒的傑作が誕生。

吉田修一自身が3年間歌舞伎の黒衣を纏い、楽屋に入った経験を血肉にし、書き上げた渾身作「国宝」。

任侠の一門に生まれながらも、歌舞伎役者の家に引き取られ、芸の道に人生を捧げた主人公・喜久雄の50年を描いた壮大な一代記。

そんな「国宝」が、世界最高峰のスタッフ&キャストと奇跡のような集結を果たし、堂々の映画化。本作のメガホンを執るのは、李相日監督。『フラガール』では日本中を感動の涙で包み、第30回日本アカデミー賞最優秀作品賞、最優秀監督賞、最優秀脚本賞を受賞した。常に最新作が期待される監督。

脚本は奥寺佐渡子。『サマー・ウォーズ』、ドラマ「最愛」など、アニメ・実写に限らず、複雑に絡みあう人間関係や、心のひだの部分にも光を当てる表現で、様々な脚本賞の受賞歴を持つ日本を代表する脚本家。

撮影にはソフィアン・エル・ファニ。『アデル、ブルーは熱い色』で第66回カンヌ国際映画祭パルム・ドールの獲得経験を持ち、今回李監督たつての希望を受けて参加。世界にも通ずる視点でとらえた撮影にも要注目。

美術監督には『キル・ビル』の種田陽平。歌舞伎という禁断の世界を美しく、鮮やかに演出する。また、四代目中村鴈治郎が本作の歌舞伎指導に入り、本編に俳優としても参加。緻密で繊細な所作を、女形を演じる俳優陣へ擦り込み、作品を更に高みへと引き上げる。

キャストにも、日本を代表する超豪華俳優陣の顔ぶれ。

主演である稀代の女形・立花喜久雄を演じるのは、その美貌をもちながら、どんな役でも演じ切る圧倒的演技力で、脚光を浴び続ける吉沢亮。

喜久雄のライバルとなる歌舞伎名門の御官司・大垣俊介を演じるのは、第48回日本アカデミー賞最優秀主演男優賞が記憶に新しく、その他数々の受賞歴を持つ横浜流星。

そして歌舞伎名門の当主・花井半二郎に、もはや世界的名俳優と名高い渡辺謙。

更には、高畑充希、寺島しのぶ、田中浜、永瀬正敏、森七菜、三浦貴大、見上愛、黒川想矢、越山敬遠、嶋田久作、宮澤エマといった、日本映画には欠かせない主演級の俳優たちが一堂に揃い、物語を更に美しく、熱くする。

制作は『キングダム』シリーズ、『ゴールデンカムイ』シリーズのCREDEUS(クレデウス)が担い、観る者を圧倒するエンターテインメント作品へ昇華。

超一流の原作&ストーリー&キャスト&スタッフが圧倒的熱量で贈る『国宝』
人生で観るべき、魂が震える映画体験を—



SHIGA LOCATION OFFICE
滋賀ロケーションオフィス



公式ウェブサイト



公式HP



公式Facebook



公式Instagram

滋賀県大津市京町四丁目1番1号 滋賀県商工観光労働部 観光振興局内 TEL:077-528-3745 [公式HP] <http://www.shiga-location.jp/>

協力: 大版フィルム・カウンスル、京都市メディア支援センター、一般社団法人東大阪ツーリズム振興機構、かしわフィルムコミッション(柏原市) 出石永楽館(豊岡市)、NPO法人但馬国出石観光協会、一般社団法人八幡市観光協会

※一般に公開されており、掲載許可をいただいた施設のみ掲載しています。 ※本紙の無断転載・無断使用・転売を禁じます 製作: 滋賀ロケーションオフィス 発行年月: 2025年11月

ハ

レストラン百花園

れすとらんひゃかうえん



レストラン百花園外観



客席

レストラン百花園は、創業昭和39年のレトロな外観の洋食店。秘伝の自家製デミグラスソースがトロリとかった手ごねハンバーグからカツレツまで、昔ながらの洋食屋の味が楽しめる人気のお店です。
映画では、喜久雄(吉沢亮)と彰子(森七菜)がレストランで食事中に俊介(横浜流星)の活躍をテレビで見るシーンが撮影されました。

レストラン百花園:京都府八幡市八幡池ノ首14-1 ☎075-631-3306 (営業時間10:00~15:30) 定休日 毎週金曜日・日曜日・祝日

十

安戸文化住宅

あんどうぶんかじゆうたく



安戸文化住宅



ロケ風景写真

近鉄奈良線・八戸ノ里駅近くの第二寝屋川沿いにたたずむ安戸文化住宅。
春江(高畑充希)が住むアパートのシーンは、この文化住宅で撮影されました。喜久雄の少年時代から大人になった後のシーンにも登場する数少ないロケ地です。

※安戸文化住宅は、居住者がいらしゃる集合住宅となりますので、許可なく立ち入りせず、ご見学は、外観を見るのみに留めていただきますようお願いいたします。

安戸文化住宅: 大阪府東大阪市御東2丁目3-8 ☎06-7222-9530

STORY

後に国の宝となる男は、任侠の一門に生まれました。
この世ならざる美しい顔をもつ喜久雄は、抗争によって父を亡くした後、上方歌舞伎の名門の当主・花井半二郎に引き取られ、歌舞伎の世界へ飛び込む。
そこで、半二郎の実の息子として、生まれながらも将来を約束された御官司・俊介と出会う。
正反対の血筋を受け継ぎ、生い立ちも才能も異なる二人。ライバルとして互いに高め合い、芸に青春をささげていくのだが、多くの出会いと別れが、運命の歯車を大きく狂わせてゆく…。誰も見たことのない禁断の「歌舞伎」の世界。
筋筋と才能、歓喜と絶望、信頼と裏切り。
もがき苦しむ壮絶な人生の先にある“感涙”と“熱狂”。何のために芸の世界にしがみつむ、激動の時代を生きながら、世界でただ一人の存在“国宝”へと駆けあがるのか？
圧巻のクライマックスが、観る者全てを魂を震わせる——。

キャスト

吉沢亮
横浜流星 / 高畑充希 寺島しのぶ
森七菜 三浦貴大 見上愛 黒川想矢 越山敬遠
永瀬正敏
嶋田久作 宮澤エマ 中村鴈治郎 / 田中浜
渡辺謙

原作: 吉田修一「国宝」(朝日新聞出版刊)
監督: 李相日 脚本: 奥寺佐渡子 音楽: 原 摩利彦
主題歌: 「Luminance」原 摩利彦 feat. 井口 理(Sony Music Label Inc.)

大ヒット
上映中!!

映画『国宝』関西広域ロケ地マップ

第78回
カンヌ国際映画祭
監督週間正式出品

quinzaine
DES CINÉMASTES
CANNES

ただひたすら
共に夢を追いかけた

国宝

KOKUHO

吉沢 亮 寺島しのぶ
横浜流星 / 高畑充希 寺島しのぶ
森七菜 三浦貴大 見上愛 黒川想矢 越山敬遠
永瀬正敏
嶋田久作 宮澤エマ 中村鴈治郎 / 田中浜
渡辺 謙

製作: 吉田修一「国宝」(朝日新聞出版刊)
監督: 李相日 脚本: 奥寺佐渡子 音楽: 原 摩利彦
主題歌: 「Luminance」原 摩利彦 feat. 井口 理(Sony Music Label Inc.)

6.6



一

出石永楽館 いずしえいらくかん

出石永楽館は、近畿地方最古の芝居小屋であり、現地に現存する日本最古の芝居小屋です。明治34年(1901年)に小幡久次郎によって建てられ、歌舞伎、落語、映画などの興行を行っていました。昭和39年(1964年)に閉館しましたが、平成20年(2008年)に44年の時を経て復活しました。館内には、明治時代から大正時代にかけての貴重な劇場機構が忠実に復原されており、一般公開も行われています。

館内には、撮影に使用された楽屋があり、中に入って鏡台の前に座れば、まるで自分が主人公になったかのような気分を味わえます。また「藤の持ち枝」の貸し出しも行っており、劇中に登場した演目「二人藤娘」を演じて楽しむこともできます。実際の撮影に使われた花道や舞台に触れて、映画の雰囲気を感じてくれる貴重な施設です。



出石永楽館外観



撮影に使用された楽屋

出石永楽館:兵庫県豊岡市出石町柳17-2 ☎0796-52-5300 営業時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)
休館日 毎週木曜日、12月31日、1月1日 ※貸館時は入館できませんので、事前に永楽館に確認のうえ来館ください。

二

玉手橋 たまてばし

玉手橋は、大阪府を流れる石川に架かる151mの長さのレトロな吊り橋です。明治41年(1908年)に開園した玉手山遊園地(現在は閉園)への導入路として利用されたことからメルヘンチックなデザインが施されており、平成13年(2001年)には吊り橋として全国初の登録有形文化財となりました。

映画では、喜久雄(吉沢亮)と俊介(横浜流星)の少年時代のシーンで登場。さらに大人になってからの場面でも、玉手橋と石川河川敷が現れます。橋の上で二人が稽古するシーンは非常に印象的です。



玉手橋



石川河川敷

玉手橋:大阪府柏原市石川町8番

三

往生院六萬寺 おうじょういんろくまんじ

平安時代後期に記された「拾遺往生伝」によれば、開基となる川瀬吉松公が告夢と共に訪れた念仏聖である安助上人の指示により、荒廃した六萬寺の一角の地に立てたお堂が、往生院の創建となっています。

安助上人は、「當天王寺之東門、定知極樂東門之中心也、加以西天迎晴夕日可觀」として、夕陽を觀じての五念門を日々修されました。正平3年(1348年)の四条畷の戦いの際の楠木軍の本陣とも伝えられ、境内に楠木正行の墓と楠木正成の供養塔があります。

映画では、喜久雄(吉沢亮)や半二郎(渡辺謙)、幸子(寺島しのぶ)が、お墓参りに行くシーンが撮影されました。



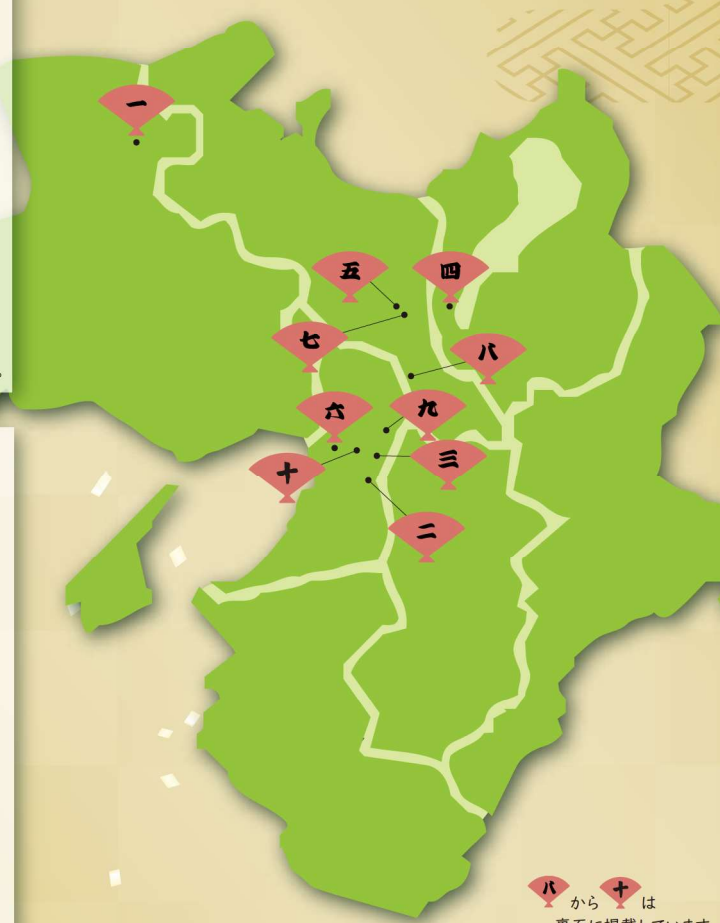
往生院六萬寺仁王門

往生院六萬寺:大阪府東大阪市六万寺町1-22-36
http://oujyouin.com/
来山は16時まで。年中無休



ロケ風景写真

映画『国宝』の名場面を彩った 珠玉の関西ロケ地たち



八から十は裏面に掲載しています。

四

びわ湖大津館 びわこおとつかん

びわ湖大津館の建物は、昭和9年(1934年)に滋賀県初の国際観光ホテルとして建設された「琵琶湖ホテル」の本館で、平成10年(1998年)、同ホテルが浜大津に移転したのを受けて、大津市が譲り受け、当時の姿に復元改修しました。

地上3階建て、桃山風破風造りの優雅な建物は、優れた近代建築として、平成12年(2000年)に大津市の指定有形文化財になっています。設計は、岡田信一郎氏の設計事務所、東京銀座の歌舞伎座、大阪中之島の中央公会堂(原案)などの設計もこの事務所が手がけました。

映画では、外観が歌舞伎座の雰囲気に近いということもありロケ地に採用され、「日乃本座」(歌舞伎劇場)の外観や喜久雄(吉沢亮)、彰子(森七菜)、千五郎(中村鴈治郎)らが出演するロビー稽古のシーンが撮影されました。



200名のエキストラが参加した外観の撮影



ロビー稽古のシーンの撮影風景

びわ湖大津館:滋賀県大津市柳が崎5-35 ☎077-511-4187 営業時間 9:00~22:00(店舗により異なる)(受付時間 9:00~19:30) 休館日 年末年始

五

かみしちけんかぶれんじょう みつもりだいみょうじん 上七軒歌舞練場／光盛大明神

上七軒歌舞練場は、北野天満宮東門前の京都最古の花街、上七軒の芸舞妓が日々の稽古の成果を披露する劇場施設です。

映画では、「浪花座」の舞台袖や舞台として、また、曽根崎心中を上演中の喜久雄(吉沢亮)を客席から見つめる俊介(横浜流星)と春江(高畑充希)のシーンなどが撮影されました。また、上七軒歌舞練場に隣接する光盛大明神では、喜久雄が娘の綾乃と一緒に神社にお参りするシーンが撮影されています。

※上七軒歌舞練場は、外観のみご覧いただくことが可能です。特別公開時以外は場内の見学はできません。



上七軒歌舞練場正面



光盛大明神

上七軒歌舞練場:京都府京都市上京区今出川通七松本西入真盛町742/光盛大明神:同左敷地内

六

国立文楽劇場 こくりつぶんらくげきじょう

古くから商人の町として豊かな文化を醸成してきた大阪の地に、人形浄瑠璃文楽を中心に広く上方芸能を保存・継承し発展させる拠点として、昭和59年(1984)3月に開場しました。文楽劇場と小ホール、2つの劇場があり、文楽劇場の舞台には、文楽公演用として、可変式の舟底機構を設けるとともに、歌舞伎も上演できるよう花道、盆(回り舞台)、迫り等も設置されています。建物についても、江戸時代を想い起させる、さまざまな表象や装飾が用いられており、正面外壁に取り付けられた櫓、唐破風の玄関庇、格天井、築地塀風の白い壁等、当時の気分や雰囲気を表現して、歴史と現代の共生する建築空間となっています。

映画では、喜久雄(吉沢亮)が『驚娘』に扮して、舞台に向かうシーンなどが撮影されました。



国立文楽劇場外観



客席

国立文楽劇場:大阪府大阪市中央区日本橋1-12-10
☎06-6212-2531 営業時間:各公演により異なる(資料展示室は10:00~18:00) 定休日 年末年始、7月1日